

2022 年度

**教育学研究科児童教育学専攻
修士課程**

**社会人入学試験
学生募集要項
(追加募集)**

 **関西福祉大学 大学院**

お問合せ先：関西福祉大学入試センター
〒678-0255 兵庫県赤穂市新田 380-3
TEL : 0791-46-2500 Mail : nyushi@kusw.ac.jp

I. 学生募集内容

1. 教育学研究科児童教育学専攻修士課程の目的

高度化が求められる教育実践において、自立して研究活動が推進できる研究能力及び教育能力を育成し、同時に児童一人ひとりの資質・能力と、個性の伸長を図る教育方法といった高度な実践力を備えた人材を育成する。

2. ディプロマポリシー

次に示す能力・素養を身につけ、かつ、所定の単位を修得し、修士論文の審査及び最終試験（口頭試験）に合格した者に対して、修了を認定し、学位を授与する。

- (1) 児童の教育指導における高度な教育実践能力
- (2) 教育実践上の課題を発見し、それを継続的に探究していく研究能力
- (3) 地域社会と連携・協力し、学校および地域の教育の質を高めていく力

3. カリキュラムポリシー

科目区分は、「基盤科目」「専門科目」「特別研究」で構成される。その基本的な考え方は以下の通りである。

「基盤科目」は、教育学研究科での学修の基盤となるもので、学部課程での各学生の学修を踏まえながら、「専門科目」「特別研究」における学修・研究の推進につなげられるように、子どもの教育・子どもの発達の理論及び教育実践学の基本としての教育方法学上の理論的知見について学修を行う。

「専門科目」は、本学教育学研究科の中心的科目として設定されるものであり、高度な教育指導能力を有した人材養成という目的に照らし、小学校の教科教育についての特論及び演習科目を置く。また、教育の実践と研究とを往還する研究的実践力を育成するための「教育実践学特論」と、学校現場のいくつかの重要な教育領域についての特論と演習科目を設定する。

「特別研究」では、「基盤科目」と「専門科目」において学んだことを結集する意図をもって、大学院教育学研究科における全学修期間を通して、個別の指導教員の指導の下、自らの研究テーマを設定し、研究計画を立て、研究成果を修士論文としてまとめていくものとする。

4. アドミッションポリシー

本学大学院教育学研究科修士課程の目的を達成するため、アドミッションポリシーを次のように定めています。

- (1) 高度な実践力を身につけるための前提となる、教職に関わる基礎的な知識や技能を有している者（知識・技能）
- (2) 教育を通じてよりよい社会を創るという意欲をもち、教育実践に役立つ広範な知識・技能、見方・考え方を学ぶ熱意を有している者（判断・意欲）
- (3) 科学的な思考能力を有し、教育学の総合的な探求を始めることができる読解力・表現力を有している者（思考力・表現力）
- (4) 専門職としての教職に携わるにふさわしい豊かな人間性と教養、道徳性等を備えることに努力している者（意欲）

5. 募集人員

研究科・専攻名	課程	修業年限	募集人員
教育学研究科児童教育学専攻	修士課程	2年	若干名

6. 出願資格

次のA・B両条件を満たす者

A. 幼稚園、小学校、中学校、高等学校教諭免許、保育士資格のいずれかの教員免許状・資格を有し、入学時点で当該免許にかかわる3年以上の実務経験を有する者

B. 次の各号のいずれかに該当する者

(1) 大学を卒業した者、又は2022年3月31日までに卒業見込みの者

(2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2022年3月31日までに授与される見込みの者

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2022年3月31日までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2022年3月31日までに修了見込みの者

(5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は2022年3月31日までに修了見込みの者

(6) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

(7) その他本研究科において、個別の出願資格の事前審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年4月1日までに満22歳に達した者

※(7)に該当する方は、出願前に事前審査を受ける必要があります。審査について希望する場合は、本学入試センターまで連絡してください。

※(3)～(5)に該当する方は、必ず出願前に、本学入試センターまで事前照会してください。

7. 試験科目及び選抜方法

(1) 試験科目：小論文、面接

※小論文：学校教育学一般に関する知識及び理解を問う小論文（配点：100点）

※面接：教育学一般に関する理解、及び研究内容と研究計画を問う面接試験（配点：100点）

(2) 選抜方法

小論文、面接の試験結果と出願書類の内容を総合的に審査して選抜を行います。

8. 出願期間・試験日時等

出願期間：2022年3月10日（木）～3月15日（火）消印有効

試験日：2022年3月19日（土）

時間	内容
9:00～9:45	受験者入室時間
10:00～11:30	小論文
11:45～	面接

合格発表：2022年3月22日（火）10:00

可否はメールにて通知します。

※可否を送信するメールアドレスは、（ nyushi@kusw.ac.jp ）です。

予めメールの受信設定をしてください。

入学手続き期間：2022年3月22日（火）～2022年3月28日（月）消印有効

合格者には、合格通知とともに、入学手続きマニュアル及び入学手続き書類一式をメールでお送りします。

初年度納付金（入学金、学費等）の納入及び入学手続き書類提出を、2022年3月28日（月）までに完了してください

初年度納付金 900,000円

（入学金 200,000円、授業料 600,000円、教育充実費 100,000円）

※入学金は初年度のみ

※授業料、教育充実費は分割納入（2分割）が可能です

※その他諸費（各種保険料等）としておよそ4,500円見込が別途必要です

9. 試験場

関西福祉大学（1号館 第3会議室）

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田 380-3

10. 研究科長との事前相談

出願を希望する方には、本研究科の具体的な研究内容を知っていただくため、本学研究科長と事前相談（面談）を行うことを推奨しています。出願前に本学入試センターへ連絡し、面談日等の指示を受けてください。

11. 出願料

出願料 35,000円

（振込手数料は各自ご負担ください）

12. 個人情報の取扱いについて

出願書類より入手した個人情報については、入学試験の出願から学籍発行までの入学手続き作業、その他本学が必要と判断した情報の提供を目的に利用します。

利用目的に沿った業務を遂行するにあたり、機密保持契約を締結した業務委託業者に必要な範囲の個人情報を提供する場合があります。この場合は、委託先において不正な取扱いがなされないよう本学が監督し、安全管理に努めます。なお、個人を特定しない数値として処理した統計については、パンフレット、ホームページ、受験雑誌等で公開させていただきます。

Ⅱ. 出願手続方法

1. 出願書類の提出

次のすべての書類を提出してください。

提出方法	書類名	留意点
メール又は印刷して郵送のいずれか	入学志願票 【本学所定様式】	本学ホームページ→「MENU」→入試情報→教育学研究科のページより、word ファイルをダウンロードしてください。
	研究計画書 【本学所定様式】	
郵送	成績証明書 【出身学校等所定様式】	最終出身学校の学校長が作成、厳封したもので発行日から6ヶ月以内のもの
	卒業、修了（見込）証明書 【出身学校等所定様式】	
	免許証の写し	幼稚園、小学校、中学校、高等学校教諭免許状、保育士資格証明書（当該免許状がある場合）

注意：婚姻等により証明書記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本等、氏名の異動が確認できる公的書類を添付してください。

■ 出願書類ダウンロードページ

https://www.kusw.ac.jp/graduate/g_education/g_educationadmission

■ メール宛先

関西福祉大学入試センター nyushi@kusw.ac.jp

■ 郵送宛先

関西福祉大学入試センター
〒678-0255 兵庫県赤穂市新田 380-3

2. 出願料の支払い

支払い方法は、銀行振込です。

2022年3月15日（火）までに、本学所定の振込用紙でお支払いください。

※振込用紙は、本学ホームページからダウンロードできます。

https://www.kusw.ac.jp/graduate/g_education/g_educationadmission

本学ホームページ→「MENU」→入試情報→教育学研究科のページより PDF をダウンロード

※ATMから振込む際には、口座番号等に間違いのないように注意してください。

また、依頼人名は必ず、受験者本人の名前で振り込んでください。

3. 受験票の受取り

出願書類の提出と出願料の支払いが正しく完了した方には、2022年3月17日（木）17:00までに受験票を入学志願票記載のメールアドレス宛にPDFにて送付します。受け取った受験票を印刷して、試験日当日に持参してください。

※大学から送信するメールアドレスは、（ nyushi@kusw.ac.jp ）です。

予めメールの受信設定をしてください。

Ⅲ. 入学金・授業料の減免制度等について

以下の「減免対象者」に該当する方は、入学金・授業料が減免されます。減免措置を申請する場合は事前に本学入試センターに問合せの上、出願期間締切までに必要書類を送付してください。

(1) 減免制度の概要

	制度名	減免対象者	内容	減免期間等
①	地域連携特待生入学金減免制度	赤穂市周辺地域の地方公共団体並びに地方公営企業の教職員	入学金全額免除	入学時のみ
②	赤穂市連携特待生制度	赤穂市の教職員	授業料の1/2を減額	入学より2年間 (長期履修の場合は3年間)
③	授業料減額特例制度	① 関西福祉大学卒業生かつ成績優秀者であると認められる者 ② 経済的な理由で年間学費の全額負担が困難な者		
④	関西金光学園卒業生子女特別奨学金給付制度	関西金光学園卒業生の子女	入学金の1/2相当額を給付	詳細については、本学入試センターへ問合せください
⑤	関西金光学園兄弟姉妹特別奨学金給付制度	兄弟姉妹が関西金光学園に学生生徒として在籍している方		

※関西福祉大学の卒業生は、入学金を全額免除とします。

※①と②の重複申請が可能です。

※②、③について、減免期間中に休学した場合、休学した期間は減免期間に含みません。

①の対象者について

兵庫県西播地域（赤穂市、相生市、たつの市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町）及び岡山県東備地域（備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町）の地方公共団体並びに地方公営企業の教職員のうち、保健師、助産師、看護師以外の方（現職または、2022年4月1日採用内定の方）。

②の対象者について

赤穂市の教職員（地方公営企業の職員を含む）のうち、保健師、助産師、看護師以外の方（現職または、2022年4月1日採用内定の方）。

①・②の対象者で2022年4月1日採用予定の方について、内定が取り消された場合は入学金及び授業料の減額分をお支払いいただきます。

④・⑤の対象者について

関西金光学園とは、以下の学校を指します。

関西福祉大学、金光藤蔭高等学校、金光大阪高等学校、金光八尾高等学校、金光八尾中学校、金光大阪中学校

(2) 制度①～③に該当する方の申請方法

本学入試センターまでお問合せください。申請について説明の上、必要書類をメールで送付します。審査結果については、合格発表時にあわせて通知します。なお、不合格の場合でも申請書類は返却しません。

(3) 制度④・⑤に該当する方の申請方法

本学入試センターまでお問合せください。

IV. 教育学研究科修士課程概要

1. カリキュラム表と修了要件

科目区分	授業科目の名称	必修・選択	単位数
基盤科目	教育学特論Ⅰ (2) 教育学特論Ⅱ (2) 子ども発達特論 (2) 教育方法学特論 (2)	必修 必修 必修 必修	必修 8 単位
専門科目	教育実践学特論 (教育課程・評価) (2) 教育実践学演習 (教育課程・評価) (2) 国語教育特論 (2) 国語教育演習 (2) 算数教育特論 (2) 算数教育演習 (2) 理科教育特論 (2) 理科教育演習 (2) 社会科教育特論 (2) 社会科教育演習 (2) 芸術教育特論 (2) 芸術教育演習 (2) 道德教育特論 (2) 道德教育演習 (2) 健康教育特論 (2) 健康教育演習 (2)	必修 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択	必修 2 単位、 選択 12 単位以上
特別研究	特別研究 (8)		必修 8 単位
() 内単位数 合計 30 単位以上			
修士論文			

※カリキュラムは変更となる場合があります。

修了要件：基盤科目の必修 8 単位、専門科目の必修 2 単位、選択 12 単位以上、特別研究 8 単位の計 30 単位以上を履修する。特別研究は必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出し、本大学院が行う修士論文の審査及び最終試験（口頭試験）に合格しなければならない。

2. 主指導教員の研究テーマ

専門分野	主指導教員	研究テーマ
<ul style="list-style-type: none"> ・教育方法学 ・算数科教育 	教授 加藤 明	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCA サイクルに基づく授業づくりのあり方 ・見方・考え方を核とした授業展開のあり方
<ul style="list-style-type: none"> ・初期学校教育学 ・現代芸術教育論 	教授 鈴木 幹雄	<ul style="list-style-type: none"> ・初等学校と体験教育学、自己探求的教育学の成立 ・現代芸術教育論における自己探求的教育学の成立
<ul style="list-style-type: none"> ・認知発達心理学 ・教育心理学 	教授 大山 摩希子	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学（科学）的アプローチ - 調査法、実験法、観察法などによりデータを取り、統計的処理により因果関係を明らかにするアプローチ - を使う研究、テーマは問わない。但し、量的研究を主軸とする。＜キーワード：子ども、教育・保育、発達、認知、学習＞
<ul style="list-style-type: none"> ・教育制度学 ・教育経営学 	教授 秋川 陽一	<ul style="list-style-type: none"> ・保・幼・小連携の教育制度論的研究 ・小学校と学童保育（放課後児童クラブ）の連携に関する研究 ・学校のリスク・マネジメントに関する研究
<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育学 ・国語教育学 	教授 伊崎 一夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考スキル」の強化と「主体的・対話的で深い学び」の成立 ・「言葉による見方・考え方」を培う学習指導の工夫改善
<ul style="list-style-type: none"> ・社会科教育学 ・教育課程論 	教授 小野間 正巳	<ul style="list-style-type: none"> ・GTMA を用いた授業分析と協働提案型社会科授業構成 ・学校・学級経営の現代的な課題解決をはかる教育課程編成
<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育学 	教授 服部 伸一	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の安全管理能力の育成に関する研究 ・児童生徒のヘルスリテラシーを高める保健学習の実践と評価に関する研究

3. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、修業年限2年間を、3年間を限度として延長することができます。この場合の授業料は、2年間分となります。